平成30年10月10日（水）午後7時45分～9時15分　国際医療福祉大学大学院

思いを育て、成長を助けられて

～僕はひょうきんな公務員になった～

皆さんこんにちは、川崎市から来ました明石徹之です。
僕は「自閉症」と診断されて43年。
家族と共に地域に生きて、保育園、小学校、中学校、
高校と、お友達と一緒に成長しました。
高校卒業後、川崎市の公務員として働いて26年目です。
なかなか大変だけれど、毎日お仕事がんばっています。
昨年１１月に、「第１９回糸賀一雄記念賞」をいただきました。嬉しかったです。これからもお仕事頑張ります。
皆さん、応援してください。

当時者の受賞、初

２９年１１月２日、明石洋子・徹之
糸賀一雄記念賞受賞（びわ湖ホールにて）

本文中、このカッコ内は「前例のないことをした」内容についての説明

川崎市建設緑政局　夢見ヶ崎動物公園勤務　明石徹之

では、僕の話を聞いてください。
僕は、現在45才、川崎市の公務員です。
明るく元気に働く大人です。

公務員挑戦、就労継続25年

30年6月末でまる25年、今26年目です。
清掃局、健康福祉局（多摩川の里、長寿荘）
の後、現在は建設緑政局夢見ヶ崎動物公園
で働いています。

鍵は「自己決定」

夢見ヶ崎動物公園は、右の写真
のように、僕がこどもの時、毎日お散歩したり、
遊んだりしたなつかしい場所です。
今、夢見ヶ崎動物公園で働くことができて、
僕はとても嬉しいです。

仕事の様子が「ノーマライゼーション」
（25年5月号）の巻頭グラビア（カラー4頁）
に載りました。

いなくなって探しまわった加瀬山が
働く場になるなんて、考えてもみなかった！

これからもずっと、
「お仕事がんばります！」
ご支援よろしくお願いします。

夢見ヶ崎公園散歩
徹之（6ヶ月45年前）

夢見ヶ崎動物公園（３６才時）
後方、右と同じ場所を清掃中

３才時の超多動の徹之

最初に今の職場の様子を、「ノーマライゼーション」の写真で説明します。文字は後で読んでください。

（チェックを入れて確認しながら、几帳面に誠実に仕事をこなす）

巻頭グラビアのトップページ
「この街とともに」
（（仕事を終えて家路につく徹之。
仕事は大変、でも達成感溢れて）

（幼少時に遊んだ公園。変わらぬ景色の中で
黙々と働く、自立した４０才時の徹之）

特性として、「ちゃんと仕事をしなさい」など抽象的な言葉では
本人には伝わらないので、具体的で視覚的な「手順書」等の
合理的配慮が必須。本人がわかる方法と肯定的な指示を願って…。
＊「周囲の人間の『ノーマライゼーション』が強く試されている
ように思えてならない」…この言葉は、取材された記者さんが書かれた本文の記事。
「障害者が隣で働いてもあたり前」となる世の中が来る気配がしました・・・「早く来るといいなぁ～」

次いで、地域での暮らしの様子です。毎日ホームヘルパーさんとスーパーで待ち合わせて買い物をして、自分で夕食を作ります。300種類くらい作れます。一人でも外出しますが、月1回はガイドヘルパーさんと新しい場所に行きます。昔は、旅のパートナーさんと宿泊旅行も行きました。お母さん達がつくったあおぞら共生会が、「親亡き後も地域で生きる」僕の支援者になって欲しいです。

小３まで給食も食べれない
偏食。今は何でも料理して食べる。
はさみや包丁は４才から教えた。

床屋さんやスーパーで。親亡き後でも地域で生きるためには、親いる今から「地域で共に生きる」こと

「自分らしく、あたり前に、地域で生きる」を保障するために、「欲しいサービスがないなら自ら作るしかない」と30年前に設立した「あおぞら共生会」。今は１３の事業拠点をもって、当事者発・地域発の地域生活支援を展開。親いる内になすべきことをしよう！

「とにかく本人の思いを知ってもらうこと」と考え「てっちゃん便り」を、20才からは「明石通信」に代え、地域への啓発を40年以上、実践している。

では、僕の45年間をお話しします。

僕は子供の頃、夢見ヶ崎公園のそばの
幸地域訓練会に通い、小倉保育園から
小倉小学校にいきました（1年間）。

親の自主運営の地域訓練会で「地域に生きる」を学ぶ。
S50年～障害児の保育園入園運動、S52年～普通学校就学運動

その後お父さんの転勤で、佐賀の小学校
（普通級）に５年間通い、休日や夏休みは、
水泳やアイススケート教室に行きました。

S55年～施設中心の佐賀で、水泳教室やアイススケート日曜学級を開催し、
同年齢の子どもたちの交流の場と障害児の余暇活動充実を（まさに放課後児童デイ？）

そして１２才のとき、川崎に戻りました。
幸区の日吉中学校（特殊級）に行きました。
中学のとき、「どうしても高校に行きたい」
と思ったので、勉強することにしました。

がんばって定時制高校に合格しました。
４年間の高校生活は楽しかったです。

高校合格初

高校は夜なので、昼間はお母さん達が作ってくれた
作業所「あおぞらハウス」に通いました。

サービス業の作業所は、認可されず。「あおぞら」という
トラックで引き売り配達を2年間行い、やっとH1年認可（初）

地域訓練会で散歩

小学校の登校時　弟もいっしょ

高校合格
しました！

山岳部で、キャンプ

高校生活は充実

「あおぞらハウス」は八百屋さんをしている作業所です。僕は車に乗って配達するのが好きでした。交通標識が見れるからです。配達して「ありがとう」といわれるのも嬉しかったです。
野菜をいっぱい売りました。
バザーでも売りました。

あおぞらのバザーにて
徹之と私（後方職員）

八百屋さんをしていたら、太陽堂の岩瀬さんが来て、僕は太陽堂で働くことになりました。

いろいろな野菜
（徹之絵）

太陽堂は文房具のお店屋さんです。
近所の人や女子中学生がいっぱい来て、嬉しかったです。

太陽堂で窓磨き

掃除をしたり、商品の品揃えをしたり、配達したりしました（延べ３年間）。

近所のお店のトイレ掃除や、
道路掃除もしました。

H3年、街中のお店での「構造化」は、初

高校を卒業するまでに、家のお手伝いのほか、
電気部品の組み立てや大師公園の清掃、倉庫の
商品管理や太陽堂文具店、清掃車でのごみの収集
など、７つのお仕事をしました。

中２～家のお手伝いから地域の職場の実習を

水にこだわって、
どこでも水遊び

＊そのこだわりを利用して自立のスキルを獲得
掃除のプロに、そしてそれが職業になる

その中で、清掃局のごみの収集が
一番好きでした。
こどもの時から清掃車が大好きでした。

幼児期から、ミニカーを並べて。「清掃局で働きたい」と自己決定

でも1カ月予定の清掃局のアルバイト（H3年8月）は、
「安全性の問題がある」と、１週間でクビになりました。

僕は「クビにしないでください」と役所の人に
たのみました。でも、クビになって、とても
悲しかったです。
言葉の指示で、視覚的な手順書
等無いので、わかりません。

Ｈ３～「ジョブコーチ」が必須と痛感し、
ジョブコーチの養成を始める

長寿荘で網戸掃除

そこで、お母さんは、「公務員試験に合格したら、クビにならないよ」と言ったので、僕は、「公務員試験を受ける」と言いました。

クビと言う否定的な言葉を「肯定的、具体的」な行動に代えるには

高校の先生とお母さんが僕がわかる方法（視覚支援）を工夫して、勉強を教えてくれました。

本人がわかるための情報提供方法を、日々工夫して

川崎市職員辞令の日（徹之２０才）

定時制高校から夜１０時に帰ってからも、「お母さん、勉強を教えてください」と僕は頼み、夜遅くまで一生懸命勉強しました。とてもがんばったので、公務員試験に合格しました。

多摩川の里で風呂掃除

5年くらいかけて、知的障害者の「別枠採用」の運動をする予定が、本人の思いが勝って１年で合格：初公務員

＊仕事をする誇りがいっぱい（水を自由に使える）

でも、採用されるまでに１年半もかかったので、僕はとても心配でした。

支援した組合は、「総論賛成、各論反対」で自分の職場は困る。「川崎ＴＥＡＣＣＨ研究会」を設立しジョブコーチ養成（4名確保）⇒採用へ

平成５年７月１日に採用された時は、僕はとてもうれしかったです。

上司の長谷川功さんが、「いつもきれいにしてくれてありがとう」と言ってくれるのが、とてもうれしかったです。
僕はお風呂もトイレもぴかぴかに磨きました。

TOTOにこだわって、
トイレ掃除の天才に

抽象的な「きれいに」はわからないので、「具体的・視覚的・肯定的」な手順書を作成。
プログラム通りに順序たてて仕事をすれば、「結果きれいになる」。これが合理的配慮。

「黄ばんだ陶器が白い陶器に変身した」とほめられ組合の新聞などにも顔写真入りで載りました。
水もトイレも子どもの頃から大好きで、トイレ掃除などのお仕事がんばりました。

徹之の絵
動物村

清掃局で働いた後、健康福祉局に異動になりました。
特別養護老人ホーム「多摩川の里」とその後、
老人福祉センター「長寿荘」で働きました。
僕の子ども時代を知っている松井所長さんが「こんなに成長して」と僕の自立を喜んでくれました。

3才の地域訓練会時代、保健所の新人保健婦さんが所長。「人が財産」を実感。

多摩川の里では、清拭のたたみや風呂掃除、
ディーサービスでお年寄りの方のぬり絵などの下絵も描きました。

七福神

大好きなお絵かきが職場の役に立って

絵を描くのは大好きで、お母さんが書いた本の、表紙やイラストなど全部、僕が描いた絵です。

「ピエロテッシー（徹之）と彼女」

＊どこでもパフォーマンスして、嘲笑されるのを、「面白いじゃん」に代えるため、親子でパントマイム教室に通い、ピエロデビューする

「長寿荘」の仕事は、主に建物の清掃や庭掃除です。鯉のえさやりや池の掃除は楽しかったです。

「お仕事がんばります」
(ＮＨＫ大師公園ロケ)

僕が働いている様子がＮＨＫのドキュメント番組になりました。

１９９９年１１月ＮＨＫ総合ＴＶ「笑顔で街に暮らす」(２５分)と２０００年２月ＢＳ「お仕事がんばります」(５０分)が日本中に(世界にも）放送されました。

２００５年８月には「生活ほっとモーニング」に５０分間生出演しました。

NHK生出演
内多アナ司会

＊内多勝康氏：社会福祉士を取得。ＮＨＫ退職され、「もみじの家」のハウスマネージャーに。徹之との出会いが「人生を変えた」と、同窓会誌や著書に書かれた。

韓国講演（釜山大学講堂）

また韓国放送公社（ＫＢＳ）のスタッフが日本に来て
日曜スペシャル「幸福なレインマン、走って世の中に」
（60分）と言う番組も、作られました。

ダスティ・ホフマンの「レインマン」は施設に戻ったが、
日本の「レインマン」は地域に飛び出したと言う視点が嬉しい

韓国で放送後、韓国の方々から感想だけでなく、
視察団も来て、あおぞらハウスなど見学されました。
韓国では、お母さんの本の翻訳のほか、僕が主人公
の漫画も、３巻出ています。

韓国放送公社の京都ロケ

25年、中国でも翻訳本が出版されました。
25年の「世界自閉症啓発デー」には、中国の教育
の新聞の1面にぼくが大きく載りました。

アメリカや韓国や中国に講演にも行きました。

「お仕事がんばります」という番組のタイトル
どおり、僕は汗水流して働いて人のお役に立つ
のがうれしいです。
働いてお金を貰うのもうれしいです。

30年9月は中国天津市から10名、視察に（徹之の職場も）

韓国釜山大学視察団（あおぞらハウスにて）

働いたお金は僕の好きな物を買ったり、旅行や趣味に使います。
働いたお金を、自分の趣味や
楽しみに使えるのが嬉しいです。

中国華人福祉大会(香港)で講演

第20回アジア会議　韓国主催者と
育成会北原理事長と（チェジュ島)

次の僕の夢は、結婚して「明石徹之ファミリー」を
作ることです。子どもの名前も決めていて、「明石まいこちゃんと守君のお母さんを探してください」と、お母さんに頼んでいます。僕は結婚をしたいです。

韓国KBSスタジオで

「お仕事がんばります」の次は、「結婚がんばります」。
皆さん応援してください。

これからもお仕事がんばりますので、「隣で
暮らしてもあたり前、隣で働いてもあたり前」
の、共に生きる社会になるよう、どうぞよろしく
お願いします。

休日はサイクリングに

明石家近影（弟は2児の父）